

第2号議案 2012年度活動方針(案)

私たちをとりまく情勢

1. 今後の国のあり方をめぐるたたかい

「国民の生活が第一」「コンクリートから人へ」を掲げて政権交代を果たした民主党政権は3年のあいだに3人も首相が交代し、自・公政権に負けず劣らず財界言いなり、アメリカ追従の路線を突きすすんでいます。

東日本大震災から復旧・復興、原発事故への対応など、今後の国のあり方をめぐって、貧困と格差を拡大させ、日本の社会保障を大きく後退させた「構造改革路線」の一層の推進か、それとも憲法25条の生存権にもとづく「福祉と防災の国づくり」をすすめていくのが、鋭く問われています。

震災復興に名を借りて「社会保障と税の一体改革」が急ピッチですすめられようとしています。その狙いは、社会保障の公的責任を放棄し、自己責任を強調し構造改革路線を強行することにあります。具体的には、高所得者の基礎年金の減額、年金給付年齢の引き延ばし、医療保険制度の免責、薬の保険外し、医療制度の70～74歳の窓口負担2割化、40歳未満の介護保険料の徴収、生活保護基準の切り下げなど、多くの改悪が準備されています。

2012年度の診療報酬と介護報酬は実質マイナス改定です。「病院から在宅へ」「地域のベッド削減」を貫いた報酬体系となっています。介護保険分野では生活援助サービスの時間短縮、要介護度の軽い利用者の報酬削減、グループホームの報酬引き下げなど、城南保健生協にとってはマイナス改定になっています。また、介護職員処遇改善加算が3年間実施されるものの、利用者負担増となり、介護保険料の大幅アップとともに利用者にとっても改悪となっています。さらに「地域包括ケアシステム」により日常生活圏域での24時間365日対応が課題となっており、引き続き介護保険制度の抜本改善のたたかいと機敏な対応が求められています。

そして「一体改革」の最大の狙いである消費税10%への大幅な引き上げが計画されています。これらの多くが国民の願いと対立し、政権と国民の矛盾を広げるものになります。そうした政治的閉塞感や政治不信などを背景に、情勢を専制的に打開しようとする動きが東京・大阪・名古屋などであらわれており、注視する必要があります。

2. 東京都の医療・介護

東京都の医療・福祉の実態はより深刻になっています。東京23区の国民健康保険料は2011年度に「旧但し書き」方式への変更で一斉に保険料の



健康体操サポーター養成講座

値上げが実施されました。基本的には実施主体となる各区の責任ですが、「構造改革」のもとで地方自治体に対する予算が削られ、各区で国民健康保険財政への財源支出を削減する方向が強まっています。後期高齢者医療制度を担う広域連合も同じ構造になっており、この面でも東京都の積極的財政支援が求められていますが、都民や自治体からの要望に応える姿勢がありません。救急医療の厳しい条件は依然として解消されていません。大田病院が幹事病院となっている「東京ルール」が開始され、救急患者受け入れシステムの一定の整備がすすめられていますが、救急指定病院の自己犠牲的な奮闘で支えられている状況です。また、体制整備についても救急車がわずか1台増加しただけというお寒い状況です。

東京都の予算規模は6兆円（一般会計）とスウェーデンの国家予算に匹敵する規模です。石原都政の12年間は、都民のくらしや福祉を守る自治体の仕事を次々と投げ捨てる一方で、破綻の明白な巨大開発や新銀行東京などへの浪費は拡大してきました。都知事の政治姿勢も大きな問題です。3・11東日本大震災後も「天罰」「私は原発推進論者です」「核武装すべき」など一連の発言は、被災地の人たちの思いを踏みにじるもので、

中期計画5年目としての2012年度重点課題

- 東日本大震災の被災地・被災者の救援、復興支援を日常活動に位置づけ、粘り強い支援活動と社会保障制度の拡充、原発ゼロに向けた自然エネルギー政策への転換などをさまざまな団体・個人と協力してすすめよう
- 2012年の医療・介護の同時改定に機敏に対応し、薬局・グループホーム・ヘルパーステーション事業を軌道に乗せ、保健・医療・介護・福祉の充実で安心して住み続けられるまちづくりをすすめよう
- 貧困と格差がますます拡大する中で、無料低額診療事業を行う大田病院・大森中診療所・大田歯科との連携を強め、よろず相談や青空健康相談会などでの相談活動を重視し、経済的理由での受診控えや孤立死をなくすとりくみを広げよう
- 地域（購買）生協やNPO法人などとの連携をいっそう強めて、日常的に地域を見守るネットワークを広げるとともに、「お元気ですか訪問」を継続し、幅広い年齢層が参加できる健康づくり、助け合い活動で頼りになる保健生協をめざそう
- 消費税増税と一体になった社会保障の後退をくい止め、国民健康保険料の減免・引き下げ、高齢者医療制度の廃止、年金制度の改善、T P P参加反対をはじめとした国民的運動をすすめよう
- 青空健康相談会、健康体操・こころば体操班会、認知症サポーター養成講座、健康講座など、多彩な班会・学習会などを旺盛に開催し、班づくり・各支部活動の強化をすすめて地域・職域まるごと健康づくり運動を広げよう
- 区民健診やがん検診をはじめとした自治体健診、アスベスト検診、予防接種などの無料化・拡充を求めて自治体への働きかけを強めよう

2012年度の分野別重点課題

【保健教育活動】

1. 保健活動の担い手づくり

担い手づくりのために、健康体操サポーター養成講座や健康づくり教室をより充実させながら開催していきます。修了生が地域で活躍できるように、修了後の働きかけをしていきます。これまでの修了生にも活動参加を呼びかけていきます。

2. 班会、班づくり

活発な班づくり・班会開催のために、班づくり

福祉・防災都市東京をめざし、住み続けられるまちづくりと仲間づくりでいのちとくらしを守る架け橋になる



無料健康・生活相談会（蒲田駅西口）

首都東京の首長にふさわしくないばかりか、一人の人間の発言としても容認できるものではありません。震災と原発被害からの復旧・復興に全力をあげるべき時期に2020年のオリンピック招致の計画を打ち出し、積立金4,000億円にも手をつけようとしていません。オリンピック誘致を理由にした大型開発もすすめられようとしており、不要不急の財政出動を中止させ、都民のくらしにこそ振り向けるように要求を強めていく必要があります。

5. 活発な健診推進活動

病気の早期発見・早期治療のために、自治体の健診受診、大腸がん検診などをすすめていきます。

6. 保健特別講座

その時々の特宜に合った内容で、単発の講座を開催していきます。

7. 専門家との協力・提携

あらゆる保健活動で、医療・福祉の専門家である協力医療機関をはじめとする事業所の職員のを借りて、協力・連携してすすめていきます。

【介護福祉・助け合い活動】

- 大田病院・大田歯科・大森中診療所の無料低額診療事業の制度の紹介や活用を、積極的にすすめていきます。
- 大田・品川で学習会を企画・実行し、運動を進展させていきます。
- 定例の委員会を毎月開催し、幅広い視点で助け合い・まちづくり活動について考え、提案していきます。
- 介護ホットラインを通して、悩みや不安を抱える人たちの話を聞き、一緒に考えていきます。
- 「大田病院のボランティアを考える会」定例会を毎月行い、病院ボランティアの組織づくりをすすめます。

【文化・スポーツの活動】

- 参加することで、組合員相互、職員と組合員の絆が深まる行事をめざします。
- 委員会の定期開催をめざします。各支部からの文化・スポーツ委員選出をめざします。
- 恒例の行事としてはウォークラリー、バスハイク、ダンスパーティー、新春鎌倉ハイキング、駅伝フェスティバルにとりくみます。また、組合員の誰でも気軽に参加できるような新たなスポーツ行事や文化行事などについても検討します。
- それぞれの行事の内容についても、より多くの組合員が参加できる楽しい行事をめざします

2012年度 主な年間行事予定

春のバスハイク	4月22日(日)
第10回品川健康まつり	5月26日(出)
第3回健康運動サポーター養成講座	6月
春のウォークラリー	6月3日(日)
だれでもできる「健康体操教室」	6～7月
第37回通常総代会	6月30日(出)
サマー増資月間	6～7月
大腸ガン検診月間	6月
班づくり月間	6月
組合員「お元気ですか訪問」	6月
海の合宿	7月
全国鶴の木まつり	7月
原水爆禁止世界大会（広島）	8月
第4回生協組合員活動と医療・介護活動交流会	9月
仲間増やし月間	10月～11月
第28回大田・品川健康まつり	10月28日(日)
秋のウォークラリー	11月
秋のバスハイク	11月
年末増資月間	12月～1月
物品販売強化月間	12月～1月
新春鎌倉ハイキング	1月
新春ダンスパーティー	1月
虹のバレンタイン行動	2月14日前後
第3回早春駅伝フェスティバル	3月3日(日)

す。

- 行事の宣伝・参加組織の方法などについて支部が主役となるようとりくみを強め、支部づくりに役立つ行事をめざします。
- 大田・品川健康まつりの事務局として参加するとともに、全支部からの出店や舞台への出演をめざします。

【平和とくらしを守る活動】

- 2012年は介護保険、医療保険の同時改定が行われました。今後も組合員の要求や誰もが安心して住み続けられるまちづくりの観点から、よりいっそう組合員の参加を増やして旗振り役となるようとりくみを強めていきます。
- 委員会活動の確立をめざし、憲法9条、25条を生かした運動をすすめます。
- 班会の中で、憲法・平和、医療制度、介護保険制度などの内容を盛り込み、学習したり、署名を広める運動をすすめます。
- 後期高齢者医療制度の廃止を求めるとともに、社会保障の拡充を求め、組合員が主体となる運動を広げていきます。
- 原水爆禁止世界大会（広島）、3・1ピキニデーに代表を派遣します。
- 自治体との懇談や区内の各種団体との連携、共同行動などをねばり強くすすめます。
- 大田・品川の社会保障推進協議会に加盟して、それぞれの事務局として引き続き参加します。

【保健生協を強く大きくする活動】

創立以来実施できなかった「長期住所不明組合員の自由脱会処理」を行った結果、6,000人以上の減少となりました。このため、現在の組合員数は2万人を切ることになり、あらためて組織強化と仲間増やしに全力でとりくむ必要があります。各支部ごとの仲間増やし目標と班会開催目標の提案は下表の通りです。

当面の課題としては、各委員会活動の活発化と組合員参加、新たな班づくりを基礎にした全支部活動の確立、病院・診療所・事業所のない地域のとりくみ強化、支部活動の活発化をめざす再編成と強化方針の提起、若い層の活動参加に重点を置きます。

生協組合員仲間増やし目標案

支部	12目標	11目標	11実績	達成率
西品川	60	60	25	41.7%
品川	5	5	1	20.0%
海岸八潮	20	20	7	35.0%
ゆたか	75	75	43	57.3%
大井	10	10	1	10.0%
中延	40	40	22	55.0%
小山	10	10	3	30.0%
六郷	75	75	41	54.7%
羽田	10	10	3	30.0%
蒲田西	5	5	2	40.0%
馬込	30	30	27	90.0%
池上	10	10	9	90.0%
うのき	70	70	21	30.0%
大森稲谷	220	220	144	65.5%
大森西北	60	60	27	45.0%
全体合計	700	700	376	53.7%

班会開催目標案

支部	12目標	11目標	11実績	達成率	前年差	前年比
西品川	20	40	45	225.0%	-20	50.0%
品川	5	5	0	0.0%	0	100.0%
海岸八潮	100	80	102	102.0%	20	125.0%
ゆたか	230	260	221	96.1%	-30	88.5%
大井	20	20	8	40.0%	0	100.0%
中延	120	70	122	101.7%	50	171.4%
小山	5	5	0	0.0%	0	100.0%
六郷	130	50	133	102.3%	80	260.0%
羽田	60	50	58	96.7%	10	120.0%
蒲田西	10	10	8	80.0%	0	100.0%
馬込	40	40	33	82.5%	0	100.0%
池上	20	20	13	65.0%	0	100.0%
うのき	50	50	16	32.0%	0	100.0%
大森稲谷	130	140	132	101.5%	-10	92.9%
大森西北	60	50	68	113.3%	10	120.0%
全体合計	1000	890	959	95.9%	110	112.4%



第2回駅伝フェスティバル

【経営活動と中期計画の具体化】

相次ぐ介護保険制度の激変、薬価引き下げなどで、従来の延長線では組織活動を保障する財政基盤が困難になっています。城南三法人と東京民連・西南ブロック所属の法人とで「事業協同組合」の設立に向けた協議を開始しています。保健・医療・福祉の複合体としての組織運営と総務・経理部門の統合、後継者対策の充実、共同組織活動の一体化をめざします。2012年度は城南保健生協として2013年度からの中期計画策定をすすめていきます。

城南保健生活協同組合 第37回 通常総代会

●2012年6月30日(土)

午後1時～5時

●大田区民ホール アプリコ展示室

